

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 5日

事業所名 ちやいるどえつぐ元総社すくーる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		8	仕切り等で工夫しているが、空間が狭いため現在改装を検討中
	2	職員の配置数は適切である	6		1対1対応の児童が多いため、職員が足りない為、募集を行い対応中です。職員のヘルプ等で調整しております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	5	バリアフリーや構造化に向けて改装を検討中です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	3	衛生面では、職員が室内清掃や消毒を行っております。活動の空間がもう少し増やせると良いので改装を検討しております
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	朝のミーティングや、定期的に職員会議やこども会議を行っております。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		日々改善に努めております
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8		HPIにて自己評価表を掲載しております。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4	第三者委員会はありませんが、他事業所の職員が定期的な事業所評価を行い改善に努めております。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		定期的に全職員が研修出来る様調整を行っております。
適切な	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		お子様や保護者様の課題を分析し支援計画を作成しております
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	4	全職員がアセスメントツールの理解が出来る様対応致します。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	2	支援計画の作成時参考にしております。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8		支援計画の内容に合わせて集団療育・個別療育のプログラムを作成し、それに沿って日々の支援を行っております
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	2	子供会議で支援内容の提案を出し合っております。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	2	毎月、月間の療育計画を作成しそれに沿って支援を行っております
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8		個別療育と集団療育を組み入れた支援計画を作成しております

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		朝は、必ずミーティングを行っております。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8		行っております。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1	定期的に支援記録表の見直しを行い、記録の改善を行っております
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	1	相談員さんも含めモニタリングや担当者会議を行い必要であれば見直しを行っております
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		児発管や管理者が参加しております。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	1	担当者会議の際は参加をお願いしたり、3カ月に1度の事業所での様子をまとめた活動の様子をお渡ししております
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	7	1	連携している児童と連携が出来ていない児童がいるので、統一出来る様改善していきます
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	8		連携している児童と連携が出来ていない児童がいるので、統一出来る様改善していきます
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	4	併用時や、卒業時には『えっぐでのあゆみ』を作成しお渡しをしております。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	5	卒業時には、学校の先生方が施設に見学に来られています
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	6	研修等あれば参加させて頂いております。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		8	現在は感染対策として出来ておりません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		8	現在は出来ておりません。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		連絡帳や送迎時にお話をさせて頂いております。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		8	来年度以降に当法人でもペアトレの講師を配置予定です	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		契約時に説明を行っております。変更時には改めて書面で説明を行っております。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8		行っております。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		連絡帳や引き渡し時に必伺ったお悩みには、個別に対応出来る様にしております
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8		保護者会は行っております。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8		法人役員に報告し、対応を行っております。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		毎月『つなぐ通信』を作成し配布しております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8		職員の契約時には、秘密保持契約を行っております
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		配慮出来る様務めております。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	6	今後、出来る様準備しております。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	2	避難訓練は開催しております。マニュアルも作成してありますので全員が把握出来る様に、改善していきます
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		訓練の予定は、事前に決めて訓練を実施しております。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8		必要な児童の対応は、マニュアルを作成し、張り出しております
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8		対応出来る様務めております。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1	現在、事業所内では報告書を作成し周知しておりますが、法人全体での事例も把握出来る様現在作成中です
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1	研修会は、年間行事に組み込み対応出来る様対応しております
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8		支援計画には掲載しており、職員間でも委員会を開き対応策を検討しております。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。